

理工学研究科 生命科学専攻（取得可能免許種：中学校・高等学校専修／理科）

生命科学専攻の教員養成は、大学院の教員養成の理念に基づいて、生命科学科の教員養成理念を基盤とし、学科の教員養成目標「生命科学分野を主軸として、次世代を担う中学・高校生へ自然科学や理科の内容を、観察や実験を通じて伝える能力を修得するとともに、科学教育の研究分野で活躍するための基礎力も身についた高度な資質をもつ教員の養成を目指す」に基づいている。

次世代を担う自走力の高い中学・高校生を育成するには、深い専門性と広い視野を併せ持つ教員の養成が必要である。生命科学専攻では、生命機構の真理の追究とともに、創薬、医療、環境衛生、食品科学などの分野をより深化させるための高度な教育・研究を展開している。より具体的には、分子レベルで生命現象をとらえ、解析や応用ができる知識・能力、細胞や生体レベルで生命現象をとらえ、解析や応用ができる知識・能力を有することが可能である。そして、課題に関する情報の収集とその分析、問題解決のための計画の立案などができる思考力や創造力を修得させる。

本専攻では、最先端の研究を推進する過程で、最新の科学技術などを積極的に採り入れた独創的な理科教育を実践できる人材の養成を目指す。また、国際化社会に順応した俯瞰的な判断力、行動力を備え、それらを指導・教授に活かすことのできる教員を育成したい。